

【表紙】

【提出書類】 内部統制報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の4第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2026年6月23日

【会社名】 ブルドックソース株式会社

【英訳名】 BULL-DOG SAUCE CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 石垣 幸俊

【最高財務責任者の役職氏名】 該当事項はありません。

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋兜町11番5号

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【財務報告に係る内部統制の基本的枠組みに関する事項】

代表取締役社長執行役員 石垣幸俊は、当社及び連結子会社（以下「当社グループ」）の財務報告に係る内部統制の整備及び運用に責任を有しており、企業会計審議会の公表した「財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準並びに財務報告に係る内部統制の評価及び監査に関する実施基準の改訂について（意見書）」に示されている内部統制の基本的な枠組みに準拠して、財務報告に係る内部統制を整備及び運用しております。

なお、財務報告に係る内部統制は、内部統制の各基本的要素が有機的に結びつき、一体となって機能することで、その目的を合理的な範囲で達成しようとするものであり、財務報告の虚偽の記載を完全には防止又は発見することができない可能性があります。

## 2 【評価の範囲、基準日及び評価手続に関する事項】

財務報告に係る内部統制の評価は、当連結会計年度末日である2026年3月31日を基準日として、わが国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して実施いたしました。

当該評価にあたっては連結財務諸表全体に重要な影響を及ぼす全社的な内部統制評価を行ったうえで、その評価結果を踏まえて、評価対象とする業務プロセスを選定いたしました。当該業務プロセスの評価においては、選定された業務プロセスを分析したうえで、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を識別し、当該要点について、内部統制の整備及び運用状況を評価いたしました。

財務報告に係る内部統制の評価の範囲は、財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性の観点から、必要な範囲を決定しております。財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性は、金額的及び質的影響の重要性を考慮し、合理的に決定しております。なお、連結子会社「サンフーズ株式会社」及び「富留得客食品（上海）有限公司」については、金額的及び質的重要性の観点から僅少であると判断し、全社的な内部統制の評価範囲に含めておりません。

業務プロセスに係る評価範囲は、財務報告に対する金額的及び質的影響の重要性を考慮し、全社的な内部統制の評価結果を踏まえ合理的に決定いたしました。当社グループの主な事業がソース類の製造販売であることから、各事業拠点の重要性を判断する指標として売上高が適切と判断し、連結ベースの売上高のおおむね3分の2に達する事業拠点を重要な事業拠点として選定いたしました。残りの事業拠点の売上高はいずれも連結ベースの売上高のおおむね1%以下の小規模な事業拠点であり、連結財務諸表に与える金額的及び質的影響が相対的に小さく、全社的な内部統制の評価結果も踏まえ、評価対象外としております。当該重要な事業拠点においては、事業目的に大きく関わる勘定科目として、「売上高」、「売掛金」、「棚卸資産」及び「有形・無形固定資産」に至る業務プロセスを評価の対象と致しました。これらの勘定科目は、当社グループの主たる事業であるソース類の製造販売における主要な取引及び事業用資産を表す勘定科目であり、一般投資家等の利害関係者が当社グループの経営成績及び財政状態を判断するにあたっての重要な勘定科目に該当すると判断しております。また、財務報告への影響の大きい、見積りや予測を伴う重要な勘定科目に係る業務プロセスとして「固定資産の評価」、「引当金の見積り計上」、「繰延税金資産の評価」、「棚卸資産の評価」、「投資有価証券の評価」、「顧客に支払われる変動対価の見積り計上」を個別に評価対象に追加いたしました。

## 3 【評価結果に関する事項】

上記の評価の結果、当連結会計年度末日時点において、当社グループの財務報告に係る内部統制は有効であると判断いたしました。

## 4 【付記事項】

該当事項はありません。

## 5 【特記事項】

該当事項はありません。